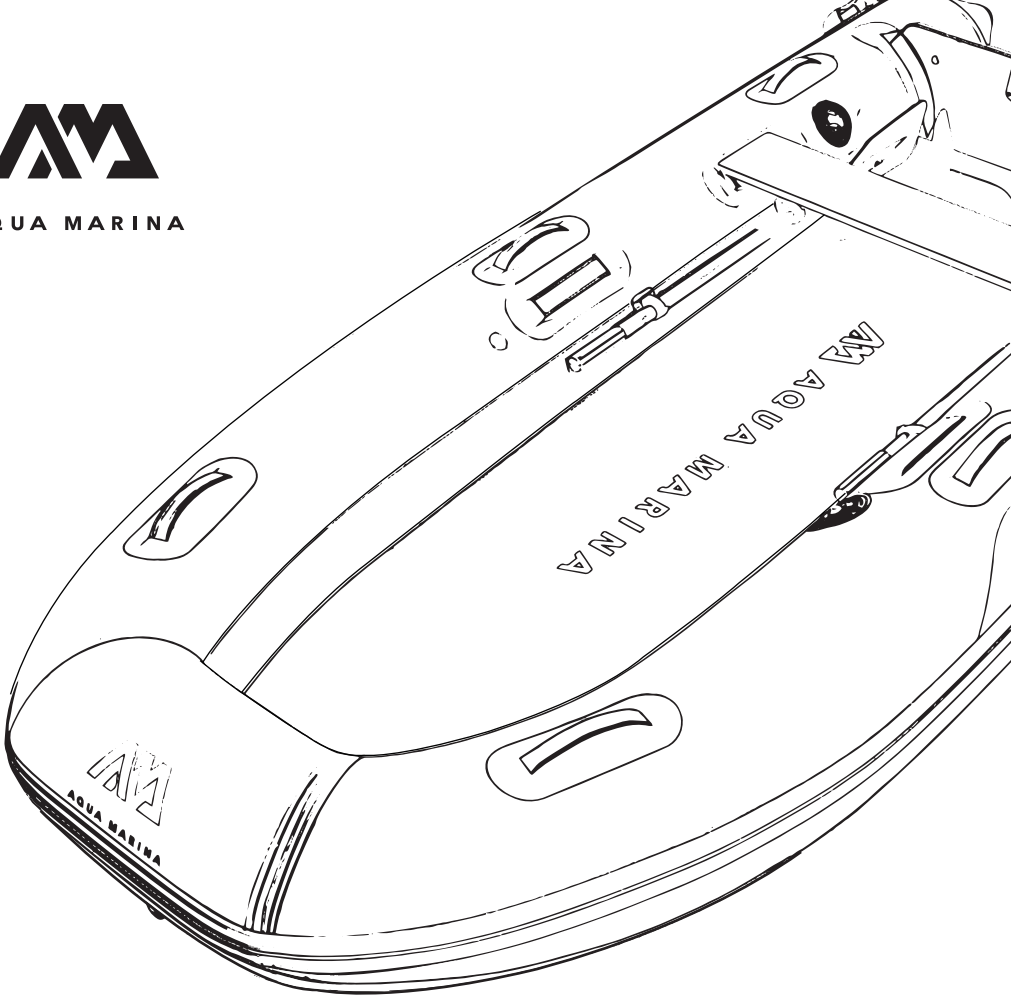




AQUA MARINA



INFLATABLE AIR-DECK SPORT BOATS

User's Guide

BT-UD250 / BT-UD298

www.aquamarina.jp



本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

この度はアクアマリーナ製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。
ご使用頂く前に、下記チェックを必ず行って下さい。

ご使用頂く前に適正空気圧で膨らませ、破損（穴、破れ、変形）が無いか確認下さい。

この段階で不良が確認された場合は初期不良として保証対応致しますので、購入した販売店へご連絡下さい。

※エアリークに関しては、1度でも使用された場合1年以内であっても保証対象外となります。
（使用方法に問題があったのか、製品に問題があったのか判定する事ができないため）

この取扱説明書は、より安全に楽しく遊んで頂くために必ずお読み下さい。

使用上の注意

安全

水辺での遊びは必ず危険が伴います。地域ごとの規則に従い、正しい知識が必要となります。必ず安全規則に従ってください。また安全のため、単独での航行は控えてください。

このマニュアルは大切に保管をし、本製品販売時には新規所有者へ譲渡してください。ボートのラベルにある「ハル識別番号」（右下画像の6番を本書に控えてください）。

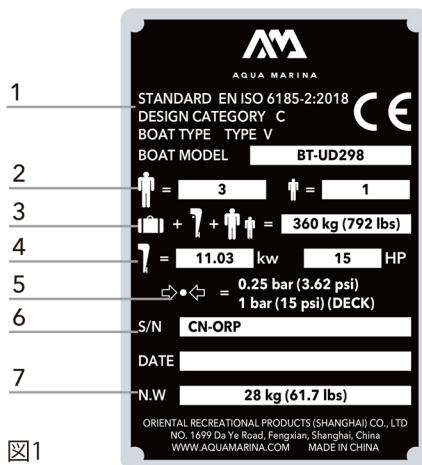
S/N.....

メーカー保証

製品の保証期間は購入日から1年です。
詳細はP.15（製品保証）をご覧ください。

メーカー推奨

搭載人員数、モーター出力、総重量は、ボートに表示されている制限を超えてはいけません。（図1）



ボート用ラベルフォーマット

1. 近海で航海のために設計されていて、大きな湾、河口、湖と川は、経験が必要となる場合があります。
2. 最大搭乗人数
3. メーカー推奨最大積載量
4. 最大モーターパワー（※日本国内では1.47kw/2HP(トランサムS)となります。）
5. 推奨空気圧
6. ハル識別番号
7. 製品重量

使用上の注意と警告

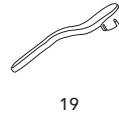
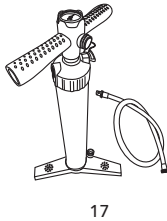
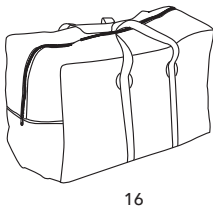
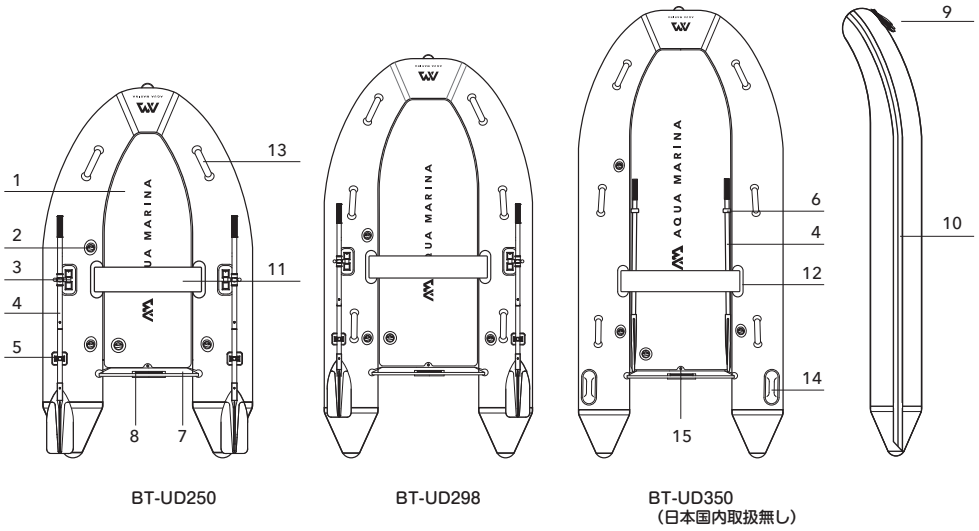
- ・ライフジャケットを着用してください。
- ・地域ごとの規則に従ってください。
- ・航行前に空気圧の確認を行ってください。また長距離航行の際は、24時間前に空気を入れてください。
- ・子供の使用は、ご遠慮ください。
- ・航行中の飲酒および、飲酒後または薬の服用後の使用はしないでください。
- ・岩や砂利の上を避けて航行してください。
- ・最大搭乗人数および搭載重量を超えないでください。
- ・ボートが流されないようにしてください。
- ・コンプレッサー、CO2または圧縮空気ポンプを使用しないでください。Aqua Marinaが推奨するポンプのみ使用してください。
- ・Aqua Marinaのボートはレジャーやレクリエーションを用途に設計されています。浮遊具として使用しないでください。
- ・水上にいる際は、ボートの上で眠らないでください。

製品機能

仕様

モデル	サイズ	最大空気圧	空気室数	最大搭乗人数	最大荷量	最大モーターパワー	製品重量
BT-UD250	8'2"×55" (2.5×1.4m)	0.25bar/3.62psi 本体 1bar/15psi フロア	3+1	2+1	280 kg (616 lbs)	2HP/ 1.47kw	25 kg (55.1 lbs)
BT-UD298	9'9"×61" (2.98×1.55m)	0.25bar/3.62psi 本体 1bar/15psi フロア	3+1	3+1	360 kg (792 lbs)	2HP/ 1.47kw	28 kg (61.7 lbs)

部位説明

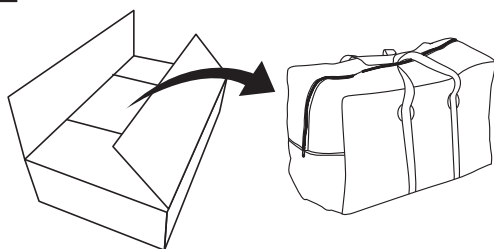


1	DWFエアデッキ	11	ウッドベンチ
2	高圧バルブ	12	シートコネクター
3	回転オール受け (BT-UD350を除く)	13	セーフティーグラブハンドル
4	アルミオール	14	PVC持ち運びハンドル (BT-UD350のみ)
5	オールホルダー (BT-UD350を除く)	15	ドレンバルブ
6	マジックテープ式オールホルダー (BT-UD350のみ)	16	キャリーバッグ
7	トランサム (高さ15"/38.1cm)	17	ゲージ付きダブルアクションポンプ
8	エンジンマウント	18	補修キット
9	Dリングおよび係船ロープ	19	レンチ
10	防舷材		

注意: 部位説明を目的とした図面および写真となり、実際の商品とは異なる場合があります。縮尺どおりではありません。

組み立ておよび分解方法

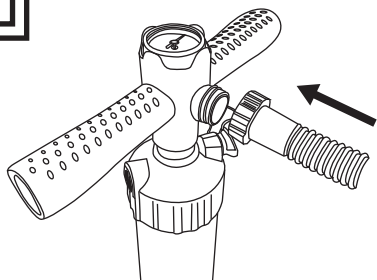
A



ボートの広げ方

ボートがすべて広げられる平らな場所で、ボートを広げて下さい。

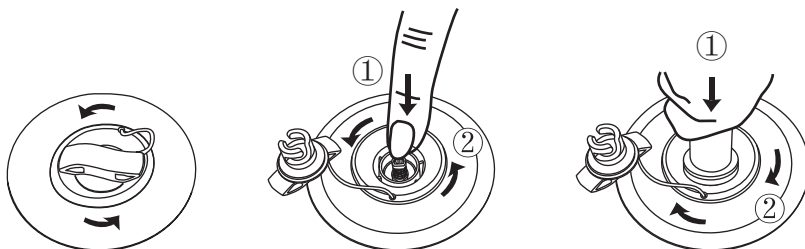
B



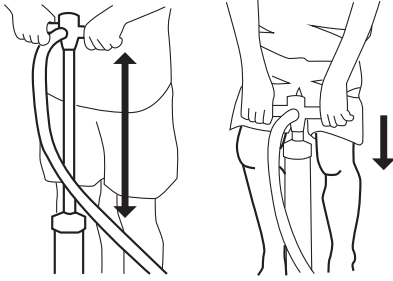
ポンプ組み付け

ゲージハウジングにポンプホースを取り付け、きつく締まっていることを確認してください。

C



1. 反時計回りに回してバルブキャップを開けます。バルブに汚れがないことを確認してください。
2. バルブを押し、反時計回りに90度回してください。バルブが飛び出ます。この位置が「OUT」位置となります。
3. ポンプホースを差し込み45度回して、ロックします。規定値まで空気を入れてください。

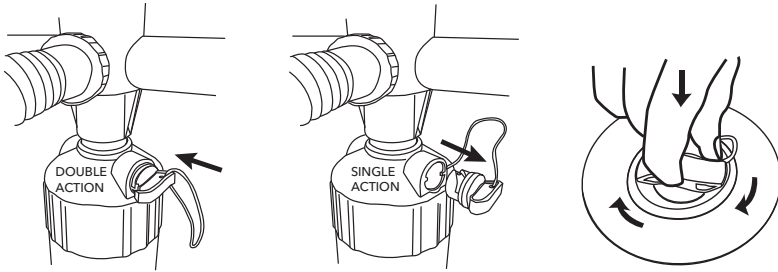


少ない労力でより早く膨らませる方法

- ・ 腕を伸ばしたまま、ポンプシリンダーの全範囲を使用してください。
- ・ ひざを曲げて、体重を使ってください。

D

LIQUID AIR V1



ポンプはダブルアクションモードとシングルアクションモードで切り替えが可能です。

1. ハルへ0.25 bar/3.62 psi、デッキへ0.5 bar/7 psiまでは、エアタップを閉じて**ダブルアクションモード**を使って空気を入れてください。
2. デッキへ1 bar/15 psiまでは、エアタップを開けて**シングルアクションモード**に切り替えて空気を入れてください。

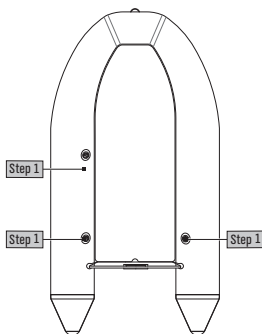
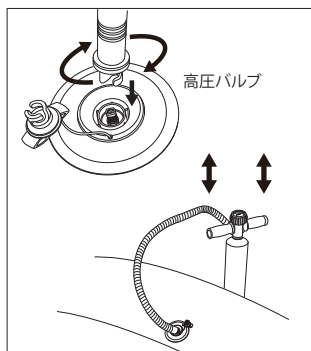


空気の入れすぎによる破損は保証対象外となります。適切に航行が可能であるのに必要なデッキの空気圧は12 psiとなり、最大15 psiまでです。

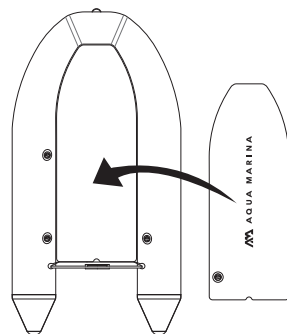
注意事項

- ・ 80～90%までの空気容量を電動ポンプで入れることは可能です。空気の入れすぎを防ぐために、既定の空気圧に達するまで残りはハンドポンプを使用してください。
- ・ エアコンプレッサーは使用しないでください。使用による破損は、保証対象外となります。
- ・ 長距離航行の場合は、事前に膨らませ、最低24時間は規定の空気圧が保たれていることを確認してください。

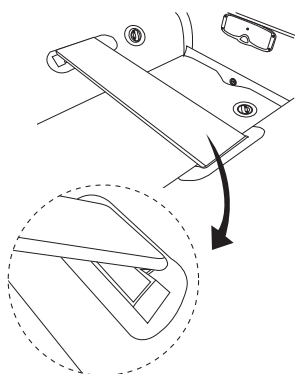
E



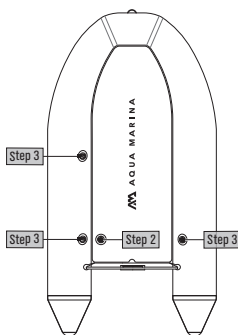
(1)



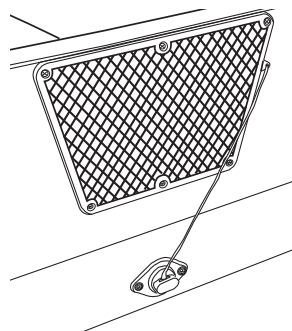
(2)



(3)



(4)



(5)

ボートに空気を入れる

1. 表面のしわがなくなるまでチューブチャンバーに空気を入れてください。部分ごとに空気を入れることで、デッキやベンチシートの設置が容易になります。
2. DWFエアデッキの空気バルブが上部を向くように内部に設置してください。
3. ウッドベンチを取り付けます。シートボードについての両側の刻み目にフラップを挿入し、ウッドベンチを装着してください。
4. デッキとウッドベンチを取り付け後に、デッキの空気を最大空気圧まで入れてください。
(1 bar/ 15 psi) その後、チューブチャンバーを最大空気圧まで膨らませてください。
(0.25 bar/3.62 psi)

5. トランサムの下のドレンバルブにプラグを挿入します。

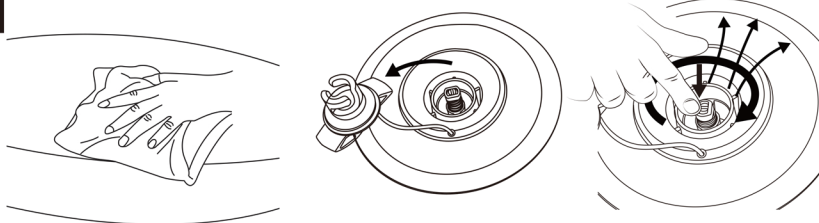
重要!

水上では、前ページ(5)のようにドレンバルブが常に閉位置にあることを確認してください。

注意: ボートを使用する前に、必ず空気圧の確認を行ってください。気温と気象条件により、内部空気圧に変化が生じます。寒い日は、空気が収縮するため、空気圧が低くなります。また、暑い時期には空気が膨張します。この場合は、膨張を防ぐために、空気を抜く調整が必要です。

- Aqua Marina®の提供するポンプのみご使用ください。
- 空気圧の不足、または過度な空気圧は安全上の問題となります。
- 空気を入れている際は、絶対にボートの上に立ったり、物を置いたりしないでください。
- ボート使用中は、絶対に空気バルブを開けないでください。
- ボートを使用する前に、バルブがきつく閉じられているか確認してください。

F



高圧バルブ

ボートの空気を抜く

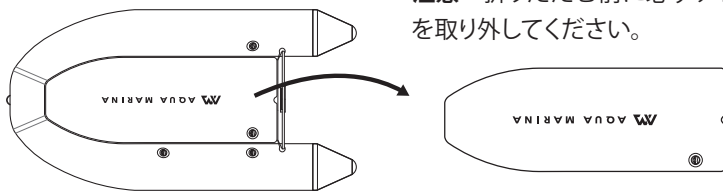
空気を抜く前に、ほかのチャンバーが完全に空気が入っている状態で、1つのチャンバーの空気を完全に抜かないでください。ボートの隔壁が破損する原因となります。

1. バルブ付近にある水や汚れを取り除いてください。
2. 高圧バルブ

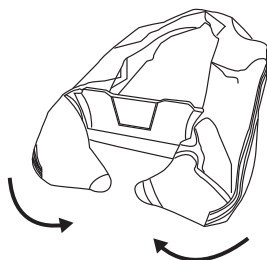
最初にバルブキャップを開けます。バルブをゆっくりと押し下げ、空気を抜きます。はじめに一気に空気が出ますが、次第に緩やかに抜けていきます。空気の出が緩やかになったら、バルブを完全に押し下げ、時計回りに回し「OPEN」位置でロックしてください。

3. チューブチャンバーとDWFエアデッキにある全ての空気バルブを開けてください。空気を抜き切る前に、各チャンバー50~75%ほどを抜き均等に抜けるようにしてください。巻き上げるようにすると、空気を押し出すことができます。

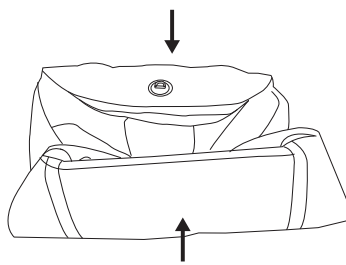
注意：折りたたむ前に必ずデッキを取り外してください。



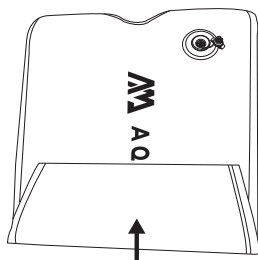
(1)



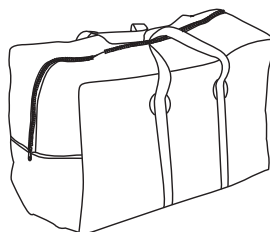
(2)



(3)



(4)

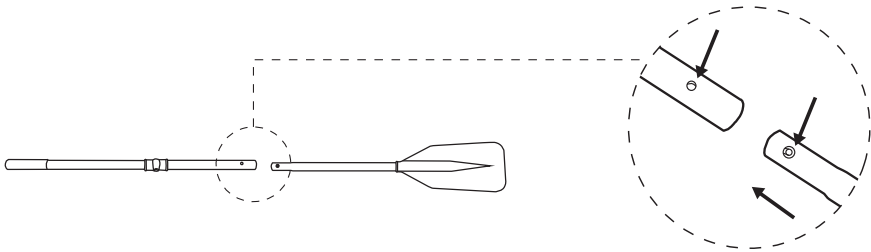


(5)

ボートの折りたたみ方

1. ボートからすべてのアクセサリを取り外します。オール、ウッドベンチ、DWFエアデッキ
注意：折りたたむ前に必ずデッキを取り外してください。
2. チューブチャンバーの両端を内側に折りたたんでください。
3. バウに向かって残りの空気を押し出しながら巻き上げてください。バウ側を1回折り、バウをきちんと下に押し込んでください。
4. DWFエアデッキは前方から折りたたんでください。バルブに向かってしっかりと残った空気を抜きながら折りたたんでください。
5. 収納バッグに入れてください。きれいに折りたたんでいただければ、容易に収納ができるよう、バッグが作られています。

アクセサリ組み立て



(1)



(2)

1. オール組み立て

- 1) オールのシャフトの凹凸部分を合わせ、ロックされるよう固定します。
- 2) オール中央部に下穴があるため、オールホルダーに通して回転式オールロックで固定してください。

注意： オールを使用しない際は、破損や水没を防ぐためにオールホルダーから外さないでください。

2. 船外機取り付け

ボートの空気入れ、組み立てが完了したら船外機をトランサムのあるエンジンマウントに取り付けます。

注意：

- ・ 船外機がしっかりとトランサムに固定されていることを確認してください。
- ・ 船外機の取扱説明書を読んでいただき、使用および取り付けを行ってください。

警告：

規定を超えるモーターパワーの使用は、死傷者を出す重大な事故、またはボートの破損につながります。2HP(馬力)を超える船外機は使用しないでください。

製品の手入れと保管方法

製品の保証は1年です。（この期間中は製品の欠陥を保証しますが、保証対象外となる場合もございます。）

ご使用頂く前に適正空気で膨らませ、破損（穴、破れ、変形）が無いかご確認下さい。

この段階で不良が確認された場合は初期不良として保証対応致しますので、購入した販売店へご連絡下さい。

※エア漏れに関しては、1度でも使用された場合1年以内であっても保証対象外となります。（使用方法に問題があったのか、製品に問題があったのか判定する事ができないため）

製品のクレーム判断はメーカーが行います。判定のために不具合部分の写真、又は製品の返送を依頼する場合があります。

ご協力頂けない場合は保証できない場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

製品に不具合があると判断した場合は、修理または製品交換で対応致します。

製品の不具合によって発生した直接的または間接的な損害、2次的な損害に対する補償は致しかねます。

本保証は、事故（衝突、火事、洪水、暴風、凍結またはその他の自然災害を含む）、乱用、誤った使用、不適切な使用などによって起因する損害については保証致しません。

メーカー推奨積載量を超えて使用した場合は保証対象外となります。

修理歴がある場合は保証対象外となります。

購入者様本人のみ製品保証の対象者となります。

本保証書に掲げた規定以外で、別段の法律あるいは規定で定める明示的または黙示的事項については保証しません。

かかる唯一の賠償責任は、本保証書に規定された内容のみです。

空気漏れと補修

空気漏れ箇所の特定

商品が少し柔らかいと感じてもそれは空気漏れが原因ではない場合もあります。気温**32℃**で空気を入れ保管しその後**25℃**まで気温が下がった場合、冷たい空気は空気圧が小さいので、翌朝空気が抜けたように柔らかくなっていると感じることがあります。温度の変化がない場合は、空気漏れが発生している可能性があります。

- ・ 傷を見落とさないように、生地表面をよく観察し、空気の漏れる音がしないか確認してください。
- ・ 傷や空気漏れの箇所に心当たりがある場合、そこに水で薄めた中性洗剤をスプレーで吹きかけてください。ぶくぶくと気泡ができる場合は、そこから空気漏れが発生しています。
- ・ また生地からの空気漏れが見つからない場合はバルブ周辺にも水で薄めた中性洗剤を吹きかけてください。

リペアパッチを使った補修

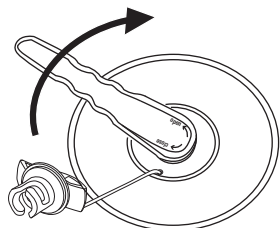
小さな傷や穴は、補修パッチ(付属)と接着剤(付属していません)を使って補修することができます。市販のPVC補修パッチとシリコン接着剤を追加で使用することも可能です。接着剤の説明書をよく読んでいただき貼り付けてください。

1. まずは商品を乾かしてから、空気を抜いてください。
2. 補修生地の一部を切り修理箇所全体を覆うサイズ(剥がれにくくするため角のない丸い形で、傷よりも1.5倍程余裕を見たサイズ)にカットしてください。
3. 補修生地を貼り付ける部分がしっかり乾いていることを確認してください。
4. 接着剤を補修生地、本体側両方へ塗ってください。接着剤は付属されていません。ウレタン系接着剤をご用意下さい。
5. 2~3分たつきがなくなるまで乾かしてください。
6. 補修生地を指で押さえて貼り、全体に圧力がかかるように端までしっかりと押してください。
7. その後12時間以上空けてから膨らませ、修理が出来ているか確認してください。

大きな傷や穴は修理が出来ないことがあります。専門の修理工場等へ相談してください。

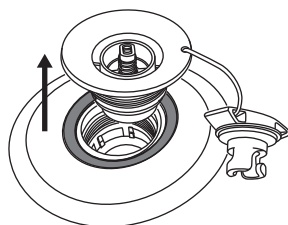
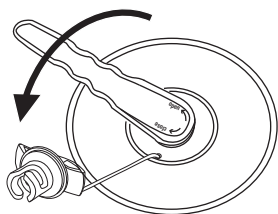
バルブからの空気漏れ解消方法

A. バルブをきつく締める

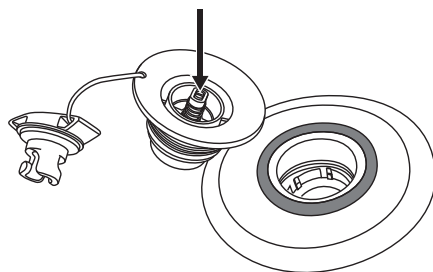
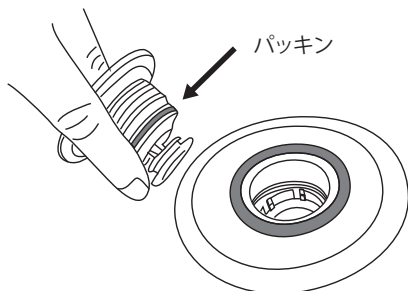


1. DWFエアデッキを既定の最大空気圧まで膨らませてください。
2. バルブレレンチをバルブに挿入し、時計回りに回してバルブをDWFエアデッキに締め込みます。

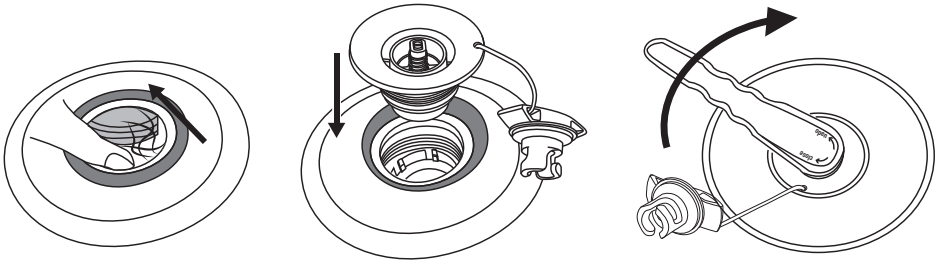
B. バルブを再取り付けまたは交換



1. DWFエアデッキの空気を完全に抜いてください。
2. ダストキャップを外して、バルブレレンチをバルブに挿入し、反時計回りに回しバルブを取り外します。



3. パッキンの位置、しっかり締まっているか、または異物が挟まっていないか確認をしてください。
4. バルブ内部のバネに異常がないか、縁に亀裂がないか確認をしてください。



5. 内部のドロップストレッチ生地から繊維が出ていないか確認をしてください。
6. バルブの下部に何も取りついていないことを確認してください。
7. DWFエアデッキにバルブを締め込み直します。
8. バルブを垂直に入れ、回して締めます。
9. 手で締め込めるところまでしっかりと締め、最後はバルブレンチを使ってきつく締め込んでください。



注意：バルブレンチは回している最中に外れないように、片方の手でしっかりと上から押さえながら回してください。

製品保証

製品の保証期間は1年です。この期間中は製品の欠陥を保証しますが、以下の制限がございます。

1. 個人的かつ非営利目的に使用する場合のみ保証の対象となります。
2. 製品のクレーム判断はメーカーが行います。判定の為に不具合部分の写真、又は製品の返送を依頼する場合があります。不具合があった場合はまずは購入した販売店に報告してください。不具合部分の写真の提出や、製品の返送にご協力頂けない場合は保証出来ない場合がございます。
3. 製品に不具合があるという判断した場合は修理、又は製品交換で対応します。製品の不具合によって発生した直接的または間接的な損害、2次的な損害に対する補償は致しかねます。
4. 本保証は、事故（衝突、火事、洪水、暴風、凍結またはその他の自然災害等の様々な災害を含む）、乱用、誤った使用、不適切な使用などによって起因する損害については保証をいたしません。
5. メーカー推奨積載量を超えて使用した場合は保証の対象外となります。
6. 修理歴のある製品は保証対象外となります。
7. 製品の保証は購入日から1年です。
8. 購入者様本人のみ製品保証の対象者となります。
9. 本保証書に掲げた規定以外で、別段の法律あるいは規定で定める明示的または黙示的事項については保証しません。販売者は、商品性または特定用途の適合性の黙示保証はしません。かかる唯一の賠償責任は、本保証書に規定された内容のみです



正しい取扱いをしなければ、事故やケガ、最悪の場合死に至る危険性がございますので、充分注意して取り扱いをしてください。